

特許法改正法律案外四件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

實用新案法改正法律案

意匠法改正法律案

商標法改正法律案

辨理士法案

委員氏名

委員長 侯爵細川 護立君
副委員長 和田 彦次郎君

子爵松平 直平君

子爵片桐 貞央君

松室 致君

男爵高千穂 宣麿君

木場 貞長君

男爵池田 健之助君

男爵島津 文次君

岡田 翼君

江木 彦太郎君

大村 摠兵衛君

鈴木 源太郎君

田中 五介君

大正十年三月十五日(火曜日)午前十時二十八分開會

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ是ヨリ開會イ

タシマス、先ヅ政府委員ノ大體ニ付テノ説明ヲ願ヒ

マス

○政府委員(田中隆三君) ソレデハ極メテ大體ノコ
トニ付テ一通リ申上ゲマスデゴザイマスガ、此度ノ
法案ノ改正ノ要點ハ極メテ重大ナコトト認メマシタ
ノヲ摘ンデ皆サンノ御手許ニ差上ゲテ居リマスル、
各改正法ノ要點ト書イテゴザイマス印刷物ニ、モウ
盡シテアル譯デゴザイマス、其一、ニ付テ申上ゲル
コトハ却テ無駄ノコトト存ジマスガ故ニ略シマス
ガ、其中ノ特ニ重立ッタコトヲ二三申上ゲマシテ、此

度ノ改正ノ必要ナル所以ヲ明ニシテ置キタイト思ヒ
マス、其一ハ先ヅ特許ノ方カラ申上ゲマスデゴザイ
マスガ、特許ノ方ニ付キ申上ゲマスレバ、是マデハ發
明ノ前後ニ依ッテ許可ヲスルト云フコトノ主義ヲ採
テ居リマシタ、所ガ實際發明ト云フモノハ多クハ内
證デ人ニ知レヌヤウニ色、工夫ヲ凝ス譯デアリマ
スカラ、實際ニ於テ其發明ガイツ完成シタモノデア
ルト云フコトハ、屢々争ヒガ起リマシテ随分困難ヲ
致シマス、却ッテ眞相ヲ得難イヤウナ點ガアルノデア
リマス、此度ハ斷然此主義ヲ改メマシテ先願主義ト
致シマシタ、完成シタ人ハ一日モ早く其發明ヲ願フ、
願ッテ出タ前後ニ依ッテ許可ヲ定メルト云フコトニ致
シマシタ、實際其發明ノ内部ノ事實マデ立入ッテ煩ハ
シイ手續ヲスルト云フコトヲ止メマシタ、ソレガ一
番根本義トシテ改正案ノ要點デゴザイマス、ソレカ
ラ第二ニハ其特許出願イタシマス際ニ、段々取調ベ
マシタ書類其他ノ調査ノ上カラ、一通リ特許ヲ與ヘ
ルダケノ値打ガアルト認メマシタモノニ付テハ、世
間ニ公告ヲ致シマシテ、サウシテ社會一般公衆ノ判
斷ニ、判斷ト申シマスル、要スルニ其特許ニ付
テ異議ヲ申立テル人ノ異議ノ途ヲ開キマシタ、一旦
特許ヲ與ヘマシタ上ニ色、多數ノ迷惑ヲスル人ガア
ルトカ何トカ云フヤウナコトハ從來再々聞イタ苦情
デアリマスガ、今度ハ特許ヲ與ヘマス前ニ、一般ノ人
ノ目カラ見テサウ云フモノハ俺ノ所デ使ッテ居ル、俺
ハ既ニ斯ウ云フコトヲ實施シテ居ルト云フヤウナコ
トヲ、所謂苦情ノ正當ナル理由ノアル人ノ爲メニ、理
由ヲ申立テル機會ヲ與ヘシメタノト、特許ヲ與ヘル
前ニソレダケノ手續ヲ致シマス、ソレカラ今度ハ特
許ヲ反對ニ拒ミマス場合、第三ノ場合ニナリマスガ、
特許ヲ與フベカラズ、與ヘル値打ガナイト認メタ場
合、其出願人ニ對シテ斯ノ理由デ特許ノ値打ノナ
イモノト認メルト云フコトヲ通告イタシテ、抗議ヲ
申込ム機會ヲ與ヘタ譯デアリマス、特許出願人ニ對
シテ今日マデハ最モ矢張り多年苦情ノ種ニナッテ居

リマシタノデ、特許ヲ與フベカラズト査定ガ下ッテ居
リマス、下ッテ見マスルト出願人ノ方デ云フト、ソレ
ハ特許局ノ審査官ノ審査ガ不十分デアアル、又間違ッテ
居ル、明ラカニソレニ對シテ駁論シ値打アル駁論ヲ
提出スル根據ガアルト云フノデモ、モウ既ニ特許ヲ
與フベカラズト査定ヲ經テ終ッタ、再ビ再審査ノ手續
ヲ繰返サナケレバナラヌト云フコトニナッタノデア
リマス、此度ハ一應拒絕ノ理由ヲ示シテ、オ前ノ特許
ハ斯ノ理由ヲ依ッテ許可スベカラザルモノデアルト
云フコトヲ言ッテヤリマス、出願人ガソレデ承服スレ
バ宜イガ、不服ガアレバ前ノ理由ニ戻ッテ審査ヲ鄭重
ニスルト云フ風ニシマス、許可スル場合ニ於テハ社
會一般公衆審査ノ途ヲ開ク、又許可スベカラザル場
合ニ於テハ能ク出願人ヲシテ十分ニ始メノ主張ヲ貫
ナ手續ヲ繰返シテサウシテ特許ヲ與ヘル、斯ウ云フ
順序ヲ開キマシタ譯デアリマス、ソレカラ其次ニハ
此色、使用人、職務ヲ有ッテ居リマスル雇人、技師
等ノ發明ノ場合デゴザイマスガ、今日迄ハ大體ノ主
義ハソレ等ノ人ヲ使ッテ居リマスル社會社デアリマス
ルトカ、雇主ノ方ガ特許權者ニナル仕組ニナッテ居
マス、ソレヲ此度ハ其主義ヲ全クアベコベニ致シテ、
發明ト云フモノハ何所マデモ發明シタ人、技師ナリ
職工ナリ其人ノ權利ニ屬スルモノデアアル、其人ガ特
許權者デアルト云フ原則ノ下ニ此度ノ法律ハ編ンデ
ゴザイマス、無論其發明ニ付テ會社ヤ何カ色、ノ費
用ヲ支出シタリ、便宜ヲ與ヘマシタコトニ付テノ報
酬關係ハ別ニ定メテゴザイマス、ケレドモ大體特許
權其モノハ其原則トシテ發明シタ人其者ノ勞ニ酬ユ
ル報酬トスルノ法律制度ト致シマシテゴザイマス、
ソレカラ次ニハ多年ノ問題ニナッテ居リマシタル重
大ノ一ツハ、此特許權ハイツマデモ十年經ッテモ二十
年經ッテモ何時デモ、其特許ノ可否ト云フコトヲ理由
トシテ取消サレルト云フコトニ付テ、大分權利其モ
ノ、不安心、安心ガ行カナイト云フコトデ、苦情...

苦痛ヲ訴ヘテ居ル實例モアリマス、又極ク惡イ例ヲ申シマスルト態ト其特許權ヲ取消スベキ主張ヲ有テ居ル人モ、其人ガ公告ヲシタリ設備ヲシタリシテ大分資本ナドヲ掛ケテ居ルヲ見テ居ッテ、エライ際ドイ所ニナッテ始メテ其特許取消シヲ請求シテ迷惑ヲ掛ケ其迷惑ヲ掛ケルト云フコトハ裏面ニ於テ何カ金デモ強請スルヤウナ事ヲシタリシタ例モ段々アツタサウデアリマス、兎ニ角其或ル期限ヲ經過スレバ權利ト云フモノハ確定安固ノモノトセナケレバ實際權利者トシテモ困リマセウ、發明ヲ保護スル上ニ於テ缺クル所ガアルト認メマシテ、此度ハ五年ヲ經過シタ後ニハ無効審判等ノ請求ハセシメナイト云フ特別規定ヲ置キマシタノデアリマス、ソレカラ法文ノ上ニ於テハ甚ダ簡單ナコトノヤウデゴザイマスケレドモ、今日マデ特許權ノ改訂分割ト云フ事ニ付テ大分世間カラシテ議論ガゴザイマス、元々特許權改訂トカ云フヤウナコトハ、間違ッタ所ヲ直シ錯誤ヲ修正スルト云フコトデ、極メデ明瞭ナコトデアアル、又分割ト申シマスルト或權利ヲ二ツナリ三ツニナリニ別ツ譯デアリマシテ、何モ權利ノ範圍ニ缺クル所ハナイヤウニ見エルトデアリマスレドモ、事實其誤謬ノ訂正トカ改訂トカ云フコトニ名ヲ藉リテ、權利ヲ擴張スルヤウナ場合ガ往々ニシテアル、分割モ矢張りソレト同ジヤウナコトデアリマシテ、同ジ權利ノ範圍内ニ於テスルナラバ差支ナイノダケレドモ、分割ノ結果其權利、利益ガ擴張スルヤウナコトモ往々ニシテ起ル、改訂分割ト云フコトハ言葉ハ簡單ナコトデアアルケレドモ、ドウモ此弊害ガ起リ易イコトデ、又起ッテ例モアルノデ、是等ニ至ッテハ簡單ナ手續デ許シテ貰ッテハ困ルト云フ、民間ニ長イ間議論モゴザイマスノデ、此度ハ此改訂分割ト云フモノモ極メテ鄭重ナル所ノ審判手續ニ依リマシテ、特許局ノ處分ヲシテ之ヲナスノデハナシニ、審判手續ニ依ッテ鄭重ナル方法ヲ備ヘテ之ヲ許可スルヤウニ致シマシタ、ソレカラ次ニハ此審判官ハ或ハ審査官ト云フモノハ無論純然タル行政官デアリマスケレドモ、人ノ權利ニ重大ナル利害關係ヲ及ボスコトノ、審査審決ヲ司ル所ノ職務ヲ持ッテ居ルノデゴザイマスカラ、丁度

裁判所ニ於ケル裁判官ノ場合ニ於ケルト同ジ如ク、或ハ其事件ノ利害關係其他ノ事情カラ致シマシテ、審査審判等ヨリ除外イタシマスルコトデアリマスルカラ、或ハ請求人等カラシテ其審判官審査官等ヲ忌避スルコトニ關シテ、民事訴訟法ニ於ケルト同ジヤウナ規定ヲ、此法ニ準用イタシマスルコトニ致シマシテ、ソレカラ又矢張り是モ同ジコトデゴザイマスガ、今日デハ一旦濟ンダ後ノ審判等ニ付テ、兩審ノ途ヲ開イテ居リマセヌノデアリマス、今度ハ矢張り訴訟ニ於ケル、種々ノ重大ナル理由ニ依ッテ、證據ニナツテ居ルモノガ疑似デアッタトカ、何トカ云フコトノ爲ニ、一旦確定シタ裁判ヲ再ビ審査スル場合ト同ジヤウナ風ニ、特許ニ付キマシテモ、矢張り訴訟法ニ準ジマシテ、再審ノ途ヲ開キマシタヤウナコトモゴザイマス、ソレカラ其他色々細カイ事モゴザイマスケレドモ、何レ御質問ナリ或ハ又法文等ノ機會デ申上ゲタ方ガ、却ッテ宜カラウト思ヒマス、唯此際衆議院デ、外ノ法案ニ移ッテカラ衆議院ノ修正ノコトヲ申上ゲマス、唯今マデノコトハ特許ノコトニ付イテ極ク大體ノコトヲ申シテ居リマシタ、後ノ實用新案ノ……次ニ移リマシテゴザイマスガ、實用新案ノコトニ付キマシテハ、大體ハ唯今特許ニ付イテ申上ゲマシタコトノ大方針ヲ、實用新案ノ方ニモズツト及ボシテ居ル譯デ、自然前ノ方ガ直リマスルト實用新案ノ方モ、ソレニ準ジテ直ッテ參リマスノデアリマス、特別ニ實用新案ダケニ付ケテ極メテ重要ナ事項ハ、此際御説明ヲ申上ゲルコトハナカラウト思ヒマス、唯併ナガラ此際ニ於テ申上ゲタ方ガ便宜ト思ヒマスガ、先刻申上ゲマシタ此出願ヲ公告イタシマシテ、許可スベキモノト認メタル場合ハ、公告イタシマシテ、公衆審査ニ付スルト云フコトハ、實用新案ノ方デハ省イテ居ッタノデアリマス、然ルニ此度ハ衆議院ニ於キマシテ、實用新案ト云フモノハ大體ニ於テ特許ホド重大ナルモノデハナイカモ知レナイケレドモ、我國ノ國情ニ於テ詰リ幼稚ナル發明社會ニ於テ、實用新案ニ依ッテ權利ノ保護ヲ受ケル場合ハ極メテ多數デモアル譯デアリマシテ、又誤ッテ登錄シタ結果一般公衆ニ色々ナル迷惑ヲ及ボスト云フ實例モ、實用新

案ノ方ニハ往々アルヤウニモ見エケルト云フ事デ、手數ノ上カラハ随分迷惑カモ知レナイケレドモ、矢張り實用新案ニ付イテモ其途ヲ開クコトニシタイト云フコトデ、差上ゲテアリマス參考書ノ要點ニハ書イテゴザイマセヌガ、衆議院ノ修正ニ於テ、最初ノ修正ニ於テハ、公告ヲシテ公衆ノ審査ニ付スルト云フ主義ノ改正案デ、ソレヲ實用新案ノ方ニ適用セラルルコトニ致シマシタ、此點ニ付キマシテモ、政府ニ於テハ矢張り此改正案ニ重要ナル事項ヲ加ヘタ譯ニナリマス、是ハ大體唯今特許ニ付イテ申上ゲマシタコトト同ジ主義デ、ズツト參リマシタ、次ニ意匠法ノ方ノ改正ニ付イテ……意匠法ノ方ハ大抵唯今申上ゲマシタ、矢張り特許ニ準用シテ是ハ出シタモノデゴザイマス、特ニ意匠ノミニ付テ御説明ヲ申上ル程ノ重大ナルコトハ、ゴザイマセヌ、次ニ商標ノ方ニ移リマス、商標ノ方ニ付キマシテハ、全體今日ノ商標ノ方ハ餘程其權利ノ範圍ガ狭ウゴザリマシテ、例ヘバ法文中ノ或場所ニ於テ、同一又ハ類似ノ商品トカ商標ト云フヤウナ言葉ヲ使ッテアリマスケレドモ、他ノ場所ニ於テハ同一ト云フコトニ限ッテ居ル所モ往々ニシテゴザイマス、ソレヲ同一又ハ類似ト云フヤウナ風ニ致シマシテ、苟モ紛ラハシイ錯誤、誤認ヲ來サシムルヤウナ虞アル商標ニ付テハ、其商標ヲ持ッテ居ル人ノ權利ヲ保障スル上カラモ、又其商標ニ似寄ッタ商品ヲ使用スル所ノ一般公衆ノ利害ノ上カラ判斷イタシマシテモ、成ルベク是ハ際限ナク擴張スルコトハ固ヨリ宜シクナイコトデアリマスカラ、同一トカ、類似又ハ之ヲ適用ノ上カラ申シマス、其商品ヲ混同セシムル虞ガアル、或ハ世人ヲシテ誤認セシムル虞ガアルト云フヤウナ場合ニハ、商標權ノ保護ヲ之ニ及ボスコトニシナケレバ宜シクアルマイト云フコトデ、其主義ヲ以テ數箇條ニ互ッテソレト、改良シタ點ハゴザイマス、ソレハマア極メテ商標ニ付テノ重要ノ事項トナッテ居ルモノト認メマス、ソレカラ今一ツハ是ハ此商標ノ權利ト云フモノハ大體登錄シテ仕舞ヒマスルト云フト、其商標ヲ實際使ッテ居ル人ガアッテモ、使ッテ居ル人ハ勿論使用ヲ止メナケレバナラス、所謂登錄サヘスレバ他人ト同一商標ヲ前カラ使ッテ

居ル人ノ權利モ差止メルコトハ出來ル方針ノ下ニ出
來テ居リマス、是ハ固ヨリ事情已ムコトヲ得マセス、
併ナガラ同ジ商標ニ致シマシテモ、商品ノ取引者間
ナリ或ハ需要者ノ間ニ廣ク認メラレテ居ル所ノ商標
ハ、是ハドウモ願フタカラト云ツテ、其他人ノ物ニ許シ
テ、今マデ使ツテ居ル商標主ノ權利ヲ差止メテ仕舞
フト云フコトハ公益上甚ダ穩當ナコトデナカラウ
ト云フ譯デ、斯ウ云フモノニ付キマシテハ、尙ホ將來
引續イテソレヲ使用シ得ル途ヲ開キマシタノデ、所
謂取引者間、或ハ需要者間ニ廣ク認識セラレテ居ル
モノ、サウ云フモノヲ保護スルコト云フ特別ノ規定ヲ
此度一ツ設ケマシタノガ變ツテ居リマス、ソレカラ今
一ツ特別ノ規定ハ此團體標章ノ規定ヲ一ツ置キマ
シタノデス、是ハ今日ノ法律ニハゴザイマセヌノデ
ゴザイマス、是ハ例ヘバ一種ノ産業組合ナラ産業組
合デゴザイマスルコト云フ、其組合ガ或ル一種ノ標
章權ヲ得マス、組合員ガ各々之ヲ使ヘル途ヲ開キ
マシタ、是モ新規ナ規定ノ一ツデゴザイマス、ソレカ
ラ今日ノ商標法ニ世人ヲ欺瞞スル虞アル商標ハ登錄
ヲシナイト云フ規定ガアリマス、所ガ其世人ヲ欺瞞
スル虞アルモノト云フ規定ニ付キマシテ、今日マデ
色々爭ヒガ起リマシタ、其爭ヒノ要點ハ世人ヲ欺瞞
スル虞アルモノト云フコトハ、即チ商標ソノモノノ
自體ニ付テ判斷スルモノデアツテ、其商標ヲ離レテ商
標以外ノ事情理由ヨリシテ世人ヲ欺瞞スル虞アル場
合ニ付テハ、ソレニ包含シナイト云フヤウナ大審院
ノ判決例ナドモ生ズルニ至ツタノデ、是ハ此政府當局
ニ於テノ實ハ解釋トハ大分違ヒマスノデ、又商標權
ヲ保護スル上カラ申シテモソレデハイケナイ、或ハ
其商標ノ形ナリ、模様ナリカラシテ、或ハ製造者ヲ誤
認セシムルヤウナコトモアリ、或ハ其精神ヲ誤マラ
シムルコトモアリ、怪シイ飲物ニ葡萄ノ印ヲ付ケル
ト云フ事ニナルト、一般ノ人ガ買フヤウナ虞ノアル
コトモ起ツテ來ヤウ、斯ウ云フコトモ無論世人ヲ欺瞞
スル虞アルモノト云フ意味デ、此法律ヲ規定シタ積
リデ居ツタモノデアリマスカラ、此度ハサウ云フ誤解
ノ違ツタ解釋ノ生ズル憂ヲ防グ意味ヲ以テ、單ニ世
人ヲ欺瞞スルコト云フヤウナ簡單ナ言葉デナシニ、商

品ソノモノノ誤認或ハ混同ヲ生ゼシムルノ虞アルモ
ノト云フ、少シ註釋染ミタ長イ言葉ニ改メマシテ、唯
今申上ゲマシタヤウナ實例ノ場合ニ於テ誤解ヲ防グ
ヤウナ途ヲ開イタ譯デアリマス、今日マデハ、ドウモ
其點ニ於テ缺ケル虞ガアリマシテ、例ヘバ洗粉ニ付
テ或一種ノ商標ヲ與ヘマス、ソノモノハ大層世間
ニ良ク賣レルヤウニナル、ト今度ハ粉石鹼ト云フモ
ノヲ拵ヘテ、石鹼ノ粉ニシタモノデアリマスカラ、見
タ所モ洗粉ニ似寄ツテ居リマス、サウ云フモノニ、大
變洗粉ガ折角擴メタ、商標ト同ジヤウナモノヲ持ッテ
來テ洗粉ニクツ付ケヤウトスルヤウナ實例ナドモアッ
タサウデアリマス、マアソレニ似寄ツタ實例ヲ申シマ
スト澤山アリマス、靴墨ヲ折角擴メルト今度ハ「ク
リム」トカ、サウ云フモノヲ拵ヘテ來ル者ガアリ
マシテ、隨分世ヲ惑スヤウナ虞ガアル、實際サウ云フ
コトハ如何ナル點カラ考ヘテモ、ソレハ商標主ト
シテハサウ云フ人ヲ誤ラシムル様ナ商標ヲ態々付ケ
ル必要モナシ、又商標ヲ使用スル社會一般カラ申シ
マスト少クトモ斯ウ云フ疑ノナカラム事ヲ希望スル
譯デアリマス、各般ノ事情ノ上カラ、判斷ヲ致シマシ
テ、其商品ソノモノニ間違ヒヲ惹起スコト、混同ヲ生
ゼシムルヤウナ虞アルモノハ、絕對ニ商標トシテハ
登錄ヲシナイ、斯ウ云フヤウナ主義ヲ採リマシタ次
第デアリマス、商標ニ付テハ大體サウ云フヤウナコ
トデ止メテ置キマス、ソレカラモウ一ツ之ニ附帶イ
タシマスル辨理士法ノ改正ノ法案ガ、此度提出ニナッ
テ居リマス、是ハ今日デハ辨理士法ニ代ルベキモノ
トシテ辨理士令ト云フモノヲ勅令ヲ以テ定メテ居ル
ノデアリマスケレドモ、是ハ恰モ特許ニ關スル辨理
士ト云フモノハ、裁判所ニ於ケル辯護士ノ様ナ關係
ニアルモノデアリマシテ、又官民相互ノ關係カラ致
シマシテモ、其職ニ當ルニハソレハ相當ナル資格
ヲ有ツテ居ラナケレバナラス譯ニナリ、又其ノ職務上
諸般ノ取締等ヲ要スル點モゴザイマシテ、旁々辯護
士法ニ準ジテ一ツノ辨理士法ト云フモノヲ作りマシ
テ、大體今日ノ勅令ニアリマス事ヲ骨子トシテ居リ
マスル譯デアリマスガ、之ヲ法律ニ作り替ヘマシテ、
大體其辨理士ト云フモノノ品位ヲ高メマシテ、此度

ノ改正法各般ノ運用ヲ、嚴格ニ且ツ滑カニシタイト
云フ希望デ出來マシタ次第デアリマス、ソレデ斯ウ
云フ大體ノ法案ニシテゴザイマスルガ、今度衆議院
ニ於キマシテ先程申上ゲマシタヤウナ事デ、特許ニ
定メテアル所ノ公衆審査ニ關スル規定ヲ、實用新案
ノ方ニモ及ボシタイト云フ事デ、ソレヲ一箇條修正
サレマシタノデアリマス、ソレカラ此法案ヲ通ジテ
裁判所ニ出訴シマシタリ、或ハ審査ニ對シ審決ニ對
スル審判ヲ請求シマシタリ、左様ナ上訴期間ヲ現行
法ノ通り六十日ト致シテ居リマスノデアリマス、所
ガ衆議院ニ於キマシテハ六十日ト云フ期間ハ非常ニ
長過ギル、之ヲ二十日ニ縮メテ貰ヒタイ、六十日ト云
フ期間ノアル爲ニ、從來トモ特許局ノ事務ガ大分
滯ツテ居ルト云フコトモアリマスルシ、今度又大體ノ
原則トシテ先程申上ゲマシタ、廣告イタシテ公衆ノ
審査ニ付スルト云フヤウナ制度ヲ設ケマシタ結果、
其廣告期間ハ二箇月ニナツテ居ルノデアリマス、ソレ
ガ爲ニ又特別ニ處分ヲ得ルノニ二箇月延ビル譯ニナ
ルノデ、旁々此二十日ト云フモノハ、裁判所ノ上訴期
間等ニ準ジテ矢張り三十日ト致シタイト云フ事デ、
此法案全體ヲ通ジテ六十日ト云フ期間ヲ皆三十日ニ
改メマシタノデアリマス、是モ主義ノ上カラハ大分
大キナ改正ニ屬スル譯デアリマス、是モ唯現行法ニ
モアリマスルシ、人民ノ權利ヲ重ズルコト云フ意味
デ現行法ノ通りニ致シマシタガ、段々衆議院ハ一人
モ反對ナシニ總テ此期限ヲ縮少スル事ニ付テノ希望
モアリマシタガ、ソレデ政府ニ於テ快ク同意ヲ致シ
マシタノデアリマス、ソレカラ次ニ先程申上ゲマシ
タ雇人等ガ特許權ヲ得タル場合ニ於テ、雇主ガ當然
其特許權ヲ使フ途ヲ此處ニ開イタノデアリマス、斯
ウ云フ雇人等ニ費用ヲ與ヘタリ俸給ヲ與ヘタリシテ
特ニ發明セシメタ場合ノ如キハ、特許權ハ此場合雇
人ノ方ニハ與ヘルケレドモ、其雇主タル工場等ニ於
テハ矢張り其特許權ハ自分ノ仕事ノ範圍内ニ於テ實
施スル事ヲ認メタノデアリマス、ソレモ宜シウゴザ
イマスケレドモ、其認メテ雇主方デ其特許權ヲ使フ
場合ニ於テ、相當ノ保證金ヲ拂フガ宜カラウ、詰リ雇
人等ノ實際ノ發明者ヲ十分保護スルコト云フ趣旨ヲ以

テ、其場合ニ於テ矢張り相當ノ保證金ヲ拂フト云フ途ヲ開クガ宜カラウト云フ衆議院ノ修正デアリマシタ、是モ同意ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ其次ニ辦理士會ノ規定ニ於キマシテ、今日デハ其技術者等ニ關シテ詮衡ニ依テ辦理士タル事ヲ許ス道ヲ開イテゴザイマス、大學ノ文科ノ卒業生デアリマスルカ、ソレト同等以上ノ學校ノ卒業生デアルト云フ様ナモノニ就キマシテ、詮衡ニ依テ辦理士タルコトヲ許ス道ヲ開イテ居タノデアリマス、ソレヲ此度ノ辦理士法ニハ省キマシタノデアリマス、省キマシタコトモ其根本義トシテ實ハ其者ニ辦理士ヲ許サナイト云フ意味デハ實ハアリマセヌノデ、大體資格ノ上ニ於テハ變リガナイケレドモ、辦理士ヲ許スノニハ、少クトモ此特許ニ關スル工業所有權ニ關スル法令等ノ簡單ナル試驗位ヲ別ニ課シテ、サウシテ許サウ、或資格ノ者ニ付テハ外ノコトハ宜イケレドモ、此科目ダケハ特ニ試驗シヤウト云フヤウナ心持デ、ソレモ試驗規則ノ方ニ讓ル積リデ原案ヲ出シマシタ所ガ、衆議院ニ於キマシテハ、此特許ニ關シテハ、無論法律上ノ知識モ必要デアラウケレドモ、殊ニ今日迄ノ實驗ニ徴スルノニ、技術ニ關スル方ノ力ニ俟ツ事ガ多イヤウニ思ハレルカラシテ、現行ノ辦理士令ニアル所ノ詮衡ノ規定ヲ省クト云フコトハ甚ダ穩當ヲ缺ク、ダカラ是ハ現行法ニアルコトデアアルカラシテ、其現行法ノ詮衡規定ヲ矢張り辦理士法ノ法律ノ中ニ組込シテ貫ヒタイ、斯ウ云フ御註文デゴザイマシテ、其事モ結局政府ニ於テ同意ヲ致シマシテ、法文ノ上カラハ一箇條ガ加ハルト云フ大キナ改正ニナツタ譯デアリマス、ソレカラモウ一ツ大キナ修正ハ、商標ニ於キマシテ、商標法ノ第十四條デゴザイマスガ、或場合ニ於テ特許局長ノ職權デ以テ商標權ヲ取消シ得ル場合ガ規定シテアルノデアリマス、トコロガ衆議院ニ於キマシテハ商標權ヲ取消スト云フ重大ナコトデアリ、大分利害關係ノ廣イコトデモアルノデアアルカラシテ、取消ノ場合ハ總テ審判手續ニ依ルコトニシテ貫ヒタイト云フ御註文ガ出マシテ、ソレハ商標法ノ十四條ニモ三十一條ニモ今マデ特許局長ノ職權トナツテ居リマシタノヲ、矢張り審判手續ニ依テ取消ラスルト

云フコトニ改メマシタ、ソレカラ後トハ極メテモウ些細ナ字句ノ修正ニ屬スルヤウナコトデアリマシタガ、所謂重大ナ意義ヲ含シテ居リマスコトノ一ツノ、法案中ニ「特許局長」トアリマシタノヲ「特許局長官」ト改メマシタノデアリマス、此意味ハ政府カラ段々説明ヲ致シマシタル中ニ、此度ノ法案ノ改正トトモニ審判官審査官等ノ人員モ殖エ、特許局ト云フモノノ權限ガ餘程擴張セラレマシテ、餘程大キナ役所ニナルノデアリマス、又今後政府ノ方針ト致シマシテ、特許局ト云フモノガ要スルニ産業ノ發達ヲ助長スル上ニ於テ極メテ重大ナルモノト認メマシテ、各國ノ例ニ倣テ出來得ル限リ其事務ノ敏活モ圖ラナケレバナラス譯デアリマス、今日マデ特許局ノ收入ヲ政府ニ御奉公シテ居ル様ナノガドウモ甚ダ面白クナイ、收入ノ範圍ニ於テ特許局ノ事務ノ改良ヲ圖ツテ行クト云フ主義ヲ取ツテ行キタイモノデアルト云フ相談トナリマシテ、此度ノ改正ヲ機ト致シマシテ收入モ殖エルコトニナツテ參リマスシ、又隨テ特許局ノ經費等モ増シマシテ餘程面目ヲ改メルトニ致シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、サウ云フ譯デアリマスルカラシテ唯農商務省ノ單純ナ一局、山林局デアルトカ鑛山局デアルトカ云フコトト餘程趣ハ違フ譯デアアル、恰モ獨立ノ官廳デアアル如キ形式ヲモ備ヘサセタイ、又固ヨリ今日ノ法律ニ於キマシテモ、今度ノ法律ニ於キマシテモ特許局ノ權限ト云フモノニ農商務大臣ト雖モ干涉スル事ノ出來ナイ特別ノ「權限」ヲ有ツテ居ル譯デアリマス、法律ノ上カラハ……サウ云フ譯デアリマスルカラ、之ヲ一ツノ外ノ局長ト云フ者ト並ベサセテ置クノハ甚ダ面白クナイ、一ツノ別ノ長官デアルト云フ意味ヲ明カニスル爲ニ、長官ト云フ字ヲ附ケタラ宜カラウト云フコトデアリマス、是ハ官制ノヤウナ關係ニモ屬スルコトデアリマス、何等差支ナイ點デアリマスカラ此點モ御同意ヲ致シマシタ大體右様ノ次第デアリマス、後ハ御尋ニ依ツテ又御答イタシマス

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ大體ニ付テ御質問ガゴザイマスレバ此際願ヒマス

○和田彦次郎君 チョット順序ヲ違ヘルヤウデゴザ

イマスガ、商標法ノ方ニ付キマシテ唯今大體ノ御説明ヲ得マシタ所ガ、此原案ノ趣意ハ商標ニ付テハ登録シタ上ハ他人ノ使用ヲ差止ムルコトニ從來ナツテ居ルガ、然ルニ積年廣ク使用シ來ッタ所ノ商標ハ他人ノ先ヅ登録シタ上デモ從來用キ來ツテ居ルモノデアラカラ、其商標ヲ保護スルノ意味ニ於テ使用スル事ヲ許スト云フヤウナ唯今ノ御話デゴザイマシタガ、果シテサウナリマス、前ニ登録シテ貫ツテ居ル所ノ者ハ、自己ガ專用スベキ權利ヲ得タト思ウテ居ルモノデ、從來ヤリ來ツテ居ル、廣ク使用シ來ツタ例ガアルカラト云フコトデ打消サレルヤウナコトニナリハセヌカト思ヒマスガ、其邊ハドウ云フ御解釋デゴザイマスカ

○政府委員(馬場顯一君) 御答イタシマス、元來關係取引者間若クハ需用者間ニ於キマシテ、相當廣ク認識セラレテ居リマスル商標ハ、他人ガ出願イタシマシタナラバ登録ヲ致サナイノガ原則デゴザイマス、ソレハ此改正案ノ二條第八號ニ書イテゴザイマス、若シ誤ツテ特許局デ其事實ヲ知ラズシテ他人ニ其商標ヲ許シマシタ場合ニハ、其取引者又ハ需用者間ニ廣ク認識スルニ至ラシメタル前使用者ガ無効ノ審判ヲ請求シテ、サウシテ登録ヲ受ケタ所ノ他人ノ商標ヲ無効トシ得ルノデゴザイマス、デ時効制度ノ關係上商標ハ五年ヲ經過イタシマスルト、斯ノ如キ場合ニ於テ無効審判ハ請求シ得ナイコトニナツテ居リマスルガ、例ヘバ無効ノ審判ヲ請求シ得ナイ後ニ於キマシテモ、尙ホ前使用者ハ使用ヲ繼續サス、サウシテ其前使用者ハ無効審判ヲ起シテ無効トスルカ然ラズンバ時効經過ノ後ニシテ無効ノ審判ヲ請求シ得ザル後モ尙ホ引續イテ使用サス、サウ云フ趣旨デ、ソレハ前々ニ廣ク認識スルニ至ラシメタル商標ヲ使用シテ居ル人間ヲ保護スル、サウシテ商標權ヲ確保スル、斯ウ云フ趣旨カラ出來テ居ルノデアリマス

○和田彦次郎君 御趣意ハ能ク分ツテ居リマスガ、兎ニ角特許局ガ調査ガ行届カスト云ヒマスガ或ハ無効惡意デハゴザイマスマイガ、此商標ヲ古クヨリ他ガ用キテ居ルト云フ事ヲ知ラズシテ特許シタ登録シタ其場合ニ、後ニ從來ヤリ來ツテ居ル者ガアルト云フ事

ヲ認メテ其方ニ許スト前ニ登録シタモノハ御取消ニナルノデスカ、ドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(馬場顯一君) 御説ノ通り登録ヲ取消シマシテ、假令後ニ登録ヲ受ケテ居リマシタ人間デアリマシテモ登録無効トナリマス、最早使用ヲ繼續スルコトハ出来ナイノデアリマス

○和田彦次郎君 其登録無効トナルト云フコトハ審判ニ依テ御決定ニナルノデアリマス

○政府委員(馬場顯一君) 御説ノ通りデゴザイマス審判ニ依テ無効トナリマス

○和田彦次郎君 モウ一ツ、實用新案ノ公告ノ意見デアリマスガ、成ル程衆議院ニ於テ修正イタシマシタ所ハ一理アルコト、思ヒマスケレドモ、此公告ニ付キマシテハドウノ程度デアルカト云フコトハチヨット分リ兼ねマスガ、兎ニ角費用ヲ要スルコト、考ヘマス、此修正ヲ快ク御容レニナツタ以上ハ御實行ナサルノハ其費用ニ差支ナク豫算ガ取ツテアルノデスカ、其邊ヲ... 或ハ追加豫算デモ御出シニナルノデアリマス

○政府委員(田中隆三君) 御尤ノ御尋ネデアリマスガ、多少費用ハ掛ル見込ミデアリマス、併ナガラ特許法ト違ヒマシテ實用新案ノ方ハ從來トモ非常ニ簡略ナモノデアリマシテ、特別デアリマス公告ヲスル時ニ長イモノヲソレニ書込ミ、明細書トハ全ク別ニナリマス、此方ハ色々ノ事態ヲ公告イタシマスコトニナリマシテ、刷ッタモノガ後ノ商標公告ナドニモ使用スルコトガ出来、或ハ格別ノ費用ヲ要スルコトナシニ豫算ノ範圍内ニ於テドウカト云フコトデアリマシテ、少クトモ次ノ年度マデニソレガ爲ニハ差支ナク、追加豫算ノ必要ハナイト思フノデスケレドモ、實行シテ見マシテ支障ヲ來シマス場合ニ於テハ、大正十一年度ノ場合ニ於テ或ハ今日ヨリ多少ノ増額ヲシナケレバナリマセス、萬一ノ場合ニ於テ次ノ年度ニ多少増額ヲ要スルコトモアルカ知ラスト云フノデ大藏省トモ交渉イタシテ之ニ止メマシタ

○和田彦次郎君 特許ノ方デアリマス從來ノ例ニ依リマシテ随分機械ナドハナカ... 細カイモノヲ圖面デ御示シニナツテ居リマス、相當費用ヲ要シマス

トハ察シマスガ、其實用新案ノ方ニ對シテ特許ノ公告ニ於ケルア、云フ圖面デナイト御分リナラヌ積リデアリマス

○政府委員(馬場顯一君) 實用新案ハ御説ノ通り比較的簡單デゴザイマス、特許ノ如ク複雑ナルモノデアリマセス、ソレデ原則ト致シマシテ實用新案ノ出願ヲ致シマシタ其圖面及證明書デアリマスガ、其全體ヲ拒絕理由ヲ發見セズ登録シテ差支ナイト認メマシタモノヲ總テ公告イタシマス、特許ノヤウニ要旨ヲ抜クトカ、若クハ明細ニ發表スルコト云フコトヲ致サズ、初メカラ特許シテ差支ナイモノヲ全部印刷イタシマス、異議アリ又其他ノ理由ニ依ッテ拒絕シタモノハ末尾ニ其事項、登録ニナツタモノハ拒絕ニアラズト云フコトヲ記シマス、公報デ差支キマシテ登録ニナツタモノト拒絕ニナツタモノトハ分リマス、斯ウ云フ次第デアリマス

○和田彦次郎君 此特許法從來被備者ガ發明イタシマシタ時ニハ、使用者ニ向ッテ特許ヲ與ヘテアツタモノハ、被備者ニ向ッテ特許權ヲ與ヘル、サウシテ其使用權ハ會社ナリ、或ハ團體ナリガ之ヲ使用シ得ルト云フコトニナリマシテ、從來ヨリ面目ヲ新タニシタト思ヒマスガ、衆議院ノ修正ニ於キマシテ此點ニ付テ相當ナ補償金ヲ與フルコトニシタ、斯ウ云フ修正ガ出テ居ッテ居リマスガ、相當ノ補償金ト云フ事ハ相當デアルカ不相當デアルカト云フコトハ當事者間ニ於テ是ハ無論先ヅ協定イタスガ順序デアラウト思ヒマス、其當事者間ニ於テ雙方納得イタシマスレバ宜シウゴザイマス、茲ニ於テ色々ナ苦情ガ起キテ十萬圓ノ價ガアルノニ、イヤ一萬圓デ宜イト云フヤウナ場合ニハ、是ハ相對ノ場合デアルカラ他ノ法律ニ依ッテ爭フベシ、特許局ハ是等ニ付テハ何等關セス斯ウ云フ地位ニ御立チニナルノデスカ、唯相當ノ補償金ヲ特許法ニ設ケテ居ル以上ハ、或ハ審判ニ依ッテ、此處ヲ御取極メニナル御考ヘデアリマス

○政府委員(中松眞卿君) 御答申上ゲマスガ、其場合ニハ通常補償金ノヤウナ問題ハ裁判所ニ於テ行ハレテ居ルヤウデアリマス、今回ノモ通常ノ裁判所デ

決定セラレルモノデアルト考ヘマス、唯雇主ノ方デ今マデ相當ノ發明ヲサセルニ付テハ報酬モゴザイマス、サウ云フモノニ付テハ裁判所ハ其點モ斟酌スベキモノデアルト云フコトヲ法律ニ書イテアリマシガ、大體裁判所ニ於テ決定セラレルモノト考ヘテ居リマス

○和田彦次郎君 極ク簡單ナコトデアリマスガ、現在ノ官署ニ於テ局長トナツテ居ル者ハ將來是ハ區域ヲ擴張セラレルモノデアルト云フ政府ノ御意嚮カラ、官制上名前ノナイ長官ト云フコトヲ茲ニ加ヘテ法律ヲ拵ヘテ置クト云フコトハ少シクオカシクナイカト思ヒマスガ、其邊政府ハドウ云フ御考デアリマス

○政府委員(田中隆三君) 此點ニ付キマシテ法制局トモ實ハ段々相談イタシテ居ルノデアリマシテ、初メカラ此案ヲ拵ヘマス際ニモ、民間カラ致シマシテ、特許局ハ組織ヲ大キク致シテ、權限ヲ擴大スルト云フコトノ工夫ガアリマシタヤウナ次第デアリマス、然ルニ一方法律案ハ法律案トシテ審議イタシテ居リマシテ、現行法ノ儘ニシテ進ミマシテ提案スルヤウナコトニナリマシタノデアリマスガ、追加豫算ノ方ヲ考ヘテ居リマス際ニ、既ニ政府ノ方ニ於テ主局長官トシタ方ガ宜カラウト云フヤウナ考ヲ持チマシテ、段々最後ニ參リマシテハ實ハ追加豫算ニ於テモ特許局長官ト云フ事ニシヤウト云フ考ヲ政府ノ方デ持ッテ居リマシタヤウナコトデ、一面官制ノ方ハドウナルカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、是ハ此法律ガ通過イタシマスレバ、官制モ自然改正セラレルトコト考ヘテ居リマス次第デゴザイマス、ソレニ於テ局長官トナレバ、官制ノ方モソレト相伴ヒマシテ局長官ト云フコトニ致シマシテ、兩方一致イタスヤウニ致シタイ積リデアリマス

○江木翼君 私モ極ク大體ノコトダケ一應承ツテ置キマス、此各法案ヲ施行イタシマス上ニ付キマシテ、現在提出ニナツテ居リマスル大正十年度ノ總豫算トハ、何等ノ關係ハ無イノデゴザイマス、唯今ノ御話デ承ルト、何ダカ追加豫算ダケノ關係ノ様ニ承リマスガ、極ク極端ノ場合ヲ... サウモナラヌカト存

ジマスガ、想像イタシテ見マスレバ、是ガ假ニ貴族院ニ於テ未議了デアッタト云フ場合ニ、豫算ノ方ハ如何デゴザイマスカ、其點ヲ……

○政府委員(宮内國太郎君) 御答イタシマス、大正十年度ノ總豫算ト唯今御審議ヲ仰イデ居リマス五ツノ法律案トハ、何等關係ゴザイマセヌ、不幸ニ致シマシテ未議了トナルヤウナコトゴザイマシテモ、本豫算ニハ何等ノ影響ガゴザイマセヌ

○江木翼君 追加豫算ハ既ニ御提出ニナツテ居ルノデゴザイマスカ、此法案施行ニ必要ナモノハ如何ニナツテ居リマスカ

○政府委員(宮内國太郎君) 唯今其手續ヲ致シテ居リマシテ、最近ニ衆議院ニ提出セラレルコト、信ジテ居リマス

○江木翼君 是ハ私ハ甚ダ暗イノデゴザイマスガ、今回ノ改正ハ條約又ハ之ニ準ズベキモノガ變更ニナツタ關係上、特ニ改正シナケレバナラヌト云フヤウナ、所謂避クルコトノ出來ナイ事由ニ依ル改正ト云フモノハ、ナイ次第デゴザイマスカ

○政府委員(宮内國太郎君) 條約又ハ之ニ準ズベキモノニ牽連イタシマシテ、避ケルコトガ出來ナイ改正ガアルカ、ドウカト云フ御尋デアリマスヤウニ拜聴イタシマシタ、ソレハ避クベカラザルモノト云フ程度ノモノデハゴザイマセヌガ、去ル大正五年ニ於キマシテ、巴里經濟會議ノ專門委員會ニ於キマシテ、工業所有權ニ關係イタシマスル事柄ガ段々列國ノ間ニ議サレテゴザイマス、帝國ヨリモ專門委員會ガ參加イタシテ居リマスル様ナ次第デゴザイマスルガ、其委員會議ニ於キマシテモ議シテ居リマスル事項ハ、大體ニ於キマシテ工業所有權ノ將來ニ於ケル前途ヲ物語ッテ居ルモノダラウト云フコトヲ考ヘテ居リマス

○江木翼君 是ハ私ハ甚ダ暗イノデゴザイマスガ、今回ノ改正ハ條約又ハ之ニ準ズベキモノガ變更ニナツタ關係上、特ニ改正シナケレバナラヌト云フヤウナ、所謂避クルコトノ出來ナイ事由ニ依ル改正ト云フモノハ、ナイ次第デゴザイマスカ

テ居リマスル次第デゴザイマスルノデ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ、避クベカラザルモノト云フ程ノコトデゴザイマセヌケレドモ、餘ホド重大ナ關係ヲ有ツテ居ルモノト思料イタシテ居リマス、例ヘバ「化學方法」ニ依リ製造スヘキ物質「ト云フモノガ特許法」第三條ノ第三號ニ這入ッテ居リマス、是等ノ如キモ專門委員會ニ於テ議題トナリマシタノデゴザイマス、或ハ又特許權ノ濫用ヲ防遏シテ、獨占排他ノ弊ノ無イヤウ防遏スルト云フコトニ付キマシテモ、相當ノ手段ヲ取リタイト云フヤウナ議ガアリマスノデ、ソレニ對應イタシマシテ、英國ノ如キモ法律ニ改正ガアツタカノヤウニ考ヘテ居リマスガ、改正案ノ第四十

一條ニ於キマシテ、特許ガアリマシタ後ニ三年以上ノ中ニ付テ帝國内ニ發明ガ實施イタサレマセヌ場合ニ於キマシテハ、公益上必要ガアル時ニハ、特許局長官ハ利害關係人ノ請求ニ依リマシテ其特許發明ニ對シテ實施權ヲ許與スルト云フ規定ヲ置イテゴザイマス、是等ノ如キモ矢張其議題トナリマシタ事項ヲ法律ニ採用イタシマシタ、帝國産業ノ發達上、發明ガ帝國内ニ實施サレナイト云フコトデゴザイマスレバ、重大ナコトデゴザイマスノデ、利害關係人ノ請求ニ依ッテ實施權ヲ許與シテ、帝國内ニ發明ガ實施サレルヤウニ致シタイ、斯ウ云フ考ヲ以テ規定ヲシテゴザイマス、其他ニモ段々議題トナツテ居ルコトゴザイマシタガ、ソレハ既ニ帝國ノ特許法ニ於テハ採用ヲ致サレテ居リマスヤウナ點モゴザイマスルシ、ソレ等ノ點ニ付テハ考慮ヲ加ヘマシテ、成ルベク大勢ニ從ヒマシテ、サウシテ帝國内ノ實情カラ願ミマシテ、工業界ノ實情モ顧ミマシテ、サウシテ時勢ニ適應シタモノヲ許與シヤウト云フ考デ立案ヲ致シテゴザイマス

○江木翼君 平和條約即チ「ヴェルサイユ」條約ナリ或ハ「サン、ジェルマン」條約等ノ如キトハ、何等關係ハゴザイマセヌカ

○政府委員(中松眞卿君) 私カラ御答ヘ申上ゲマスガ、對獨平和條約、對奧平和條約トハ別ニ直接ニ關係ハゴザイマセヌ、唯對奧平和條約對獨平和條約ハ、現今ニ於キマシテモ特許法ト並ンデ行ハレマシテ、現

行特許法中ニモ條約ニ特別ノ規定ガアレバ、工業所有權ニ關シマシテハ特別ノ規定ニ從フコトニナツテ居リマス、今度ノ改正法案ニ於キマシテモサウ云フ規定ガゴザイマス、サウ云フ範圍ニ於キマシテノ關係ハゴザイマスガ、條約ノ結果改正ヲシナケレバナラヌト云フコトニナツタ、サウ云フ意味ノ關係ハゴザイマセヌ次第デアリマス

○江木翼君 是ハ私ハ全ク一向分ッテ居リマセヌノデアリマスガ、戰時中ニ敵國人ノ特許ヲ帝國臣民ニ使用スルコトヲ許可シタモノガ澤山アルダラウト思ヒマスノデアリマスガ、其關係ハ、本法ノ關係ト、本改正案トハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ

○政府委員(中松眞卿君) 御答申上ゲマスガ、工業所有權戰時法ト申シマスルカ、法律ガ、戰時中ニ發布サレマシテ、ソレニ基キマシテ、唯今ノ御説ノヤウニ、其當時ノ敵國人ノ持ッテ居リマス所ノ、特許發明ヲ實施スルト云フ專用權ヲ帝國臣民ニ與ヘタノモ澤山ゴザイマス、特許ノ數ヲ申シマス約二百三十有件ゴザイマスシ、權利ヲ持ッテ居リマス人ガ七十六名バカリアリマシタガ、今ハ多少減リマシテ七十二三名ニ唯今ハナツテ居ルカト記憶イタシマス、是等專用權ト云フモノト、ソレカラ特許權ノ關係ハドウ云フコトニナルカト云フコトハ戰時法デ、總テ當時ニ於キマシテ、將來ノ問題トシテ論及サレタモノデゴザイマスガ、大體是等ノ結末ハ平和條約ニ於テ告ゲラレマシタノデアリマス、平和條約ニ依リマスト云フト、對獨平和條約第三百六條ノ二項ニ規定サレテ居リマス、戰時中ニ聯合國ガサウ云フ法律ヲ出シテ、是ニ依ッテ或ル特別ノ條文ヲ出シテ居リマス、其條文ト云フモノハ、依然有效ニシテ、完全ナル效果ヲ保有スルモノデアルト云フ事ガ規定サレテ居リマス、其規定ニ基キマシテ此專用權ナルモノハ、依然トシテ有效ニ存續スルト云フ解釋ヲ致シテ居リマス、而シテ此專用權ト云フモノハ、特許權トハ對立シテ存在スルモノデアツテ、相竝行シテ存在シ得ベキモノデアルト云フ解釋ヲ取リマシテ、平和條約ノ公布セラレマシタル一月十日ニ、勅令ヲ出サレ、其勅令ト申シマ

○江木翼君 平和條約即チ「ヴェルサイユ」條約ナリ或ハ「サン、ジェルマン」條約等ノ如キトハ、何等關係ハゴザイマセヌカ

○江木翼君　其コトハ大體私モ承知シテ居ルノデゴザイマスガ、其專用權ト云フモノヲ、此法律改正ノ際ニ矢張り特許權同様ノモノトシテ、本法案ニ於テ保護スルト云フコトガ、或ハ必要ナルコトデハナイカト思ツテ、實ハ御尋ネシタノデアリマスガ、本法案ニハ何等關係ナイ、斯ウ云フ趣意ナンデアリマスガ、若シ果シテサウデアルト致シマス、此敵國人ノ特許權ノ專用權ナルモノハ、何トナク薄弱ナル權利デアルカノヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、斯ウ云フ立法ノ際ニハ、矢張此立案ノ中ニ御含ミニナツテ、改正ニナルコトガ或ハ適當デハナイカト云フコトヲ感ジタノデアリマスガ、其點ニ付テ……

○政府委員(中松眞卿君) 戰時法ニ基キマスル專用權ハ、戰時法ニ依ツテ保障セラレテ居リマスカラシテ不安ナ事ハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス、戰時法ハ戰爭ノ終了ト共ニ、當然消滅スベキモノデハアリマセズシテ、尙ホ存續シテ居ルモノデアル、專用權ノ存續スル間ハ、其專用權ヲ産シマシタ所ノ戰時法ト云フモノハ、依然存續スルモノデアルト云フ解釋ヲ執ツテ居リマス、ソレデ戰時法ニ依リ、保障セラレテ居ルモノデゴザイマスルカラ、專用權ニ關スル事ハ、是ハ寧ロ戰時中ノ一時ノ立法デゴザイマシテ、戰時法ノ系統デ律スルト云フコトガ穩當デアリマシテ、此法律ニ記載スル必要ハナカラウ、斯ウ云フ考ヲ持チマシテ、此法律ノ中ニモ戰時法ノ規定ハ致サナカッタ次第デアリマス

○江木翼君 此特許權ノ存續ノ期間ト云フモノヲ更ニ延長スル、勅令ノ定メル所デ之ヲ十年以内ニ於テ延長スルト云フ事柄ガ、何條カニアルヤウニ思ヒマ

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、年限延長ノ事ニ付キマシテハ、先刻モ御尋ネデゴザイマシタ、民間ノ御方ト役人ト一緒ニナツテ拵ヘマシタ所謂二箇年掛ツタ委員會ニ於テ、長イ間討議セラレマシタ、又衆議院ニ於テモ問題トナリマシテ、大分御互ノ意見ヲ交換イタシマシタノデアリマスガ、大體カラ申シマスレバ、此延長ノ趣旨ハ特許ヲ得レバ、色々長イ間ノ苦心、ソレヲ實施スルマデノ間ニハナカク、發明者ハ多クハ資本家デナイノデアリマス、資本家ヲ得テ其仕事ノ實施ノ間マデニ、兎角長イ年月ガ費エテ仕舞ウ、重大ナル込入ツタ發明トナレバ、其實施ノ初マル年限ガ遅レル、簡單ニ申シマスルト割合ニ早クナルカモ知レマセスケレドモ、重要ナル發明トナレバ、兎角實施ト云フモノノ間ニ數年經過シテ仕舞ウ、サウシテ漸ク費用ヲ得マシテ、設備ヲ始メテ、作ルト云フマデニハ澤山ノ年限ニ到達スルト云

フコトハ如何ニモ發明ヲ保護スル上ニ於テ缺ケル所ガアル、ソレ故ニ重要ナル發明デ、サウシテ今日マデ利益ヲ擧ゲルコトガ出來ナイモノニ付イテ、其事情ニ依テ三年以上十年以内ノ範圍内ニ於テ、延長ヲ許スト云フノガ今日ノ規則ニナツテ居ル、而シテ其趣旨ニ付イテ、鄭重ナル審査ハ別ニ其年限延長ノ審査委員ト云フモノヲ設ケラレマシテ、其議ニ付シテ、其發明ガ果シテ重要デアルヤ否ヤ、又今日マデノ經過ニ於テ、費用ヲ購ウダケ出來ナカッタカドウカト云フコトヲ調べマシテ、其事情ニ應ジテ、其年限ノ範圍内ニ於テ許シテ置クコトニナツテ居リマス、此法令ヲ實施イタシマシテモ、結果ト致シマシテハ、隨分慎重ナル手續ヲ經テ許スコトニナツテ居リマスカラシテ、今日マデ許可ヲ致シマシタノハ僅ニ十九デゴザイマス、ト云フコトゾ其許可ニ付テハ非常ナ鄭重ナル手續ニ依ツテ許可スル事ニナツテ居ル譯デアリマス、デアリマスカラシテ色々詮議モアリマシタガ、結局此法令

ハ英吉利等ニモアツテ、英吉利ナドハモット年限ノ範圍ガ長クナツテ居ルサウデアリマス、殊ニ我國ノ如キ發明者ト資本家トノ關係ノ實情ヲ見テモ、ドウシテモ是ハ發明ヲ保護スル上カラハ此制度ハ置カナケレバナラヌト云フコトニ付テハ反對論者ト雖モ異論ガナカッタ譯デアリマス、皆一致シテ居リマシタ、第一從來許可シタ者ノ中ニドウモ穩當デナイモノアリト云フノガ異論ノ因ツテ起ル源デアツタ、併ナガラソレデハドノモノニ付テ許可ヲ與ヘタコトガ穩當デナイカ、是ハ人ノ權利ニ關スルコトデアリマスカラ、言フ人モ遠慮スルヤウナ氣味モアル、甚ダ判然イタシマセナカッタケレドモ、併ナガラ極ク打解ケ話ヲ致シマシテ色々議論ヲ進メテ見マスト云フト、延長制度ニ依ツテ一番最初ニ許可ヲ得タノハ御承知ノ御本本ト云フ養殖眞珠ノ許可デアル、延長ノ適用ヲ一番最初ニ受ケタノハ彼ノ人デアル、ソレニ付テドウモ兎角世間ノ誤解ガアルヤウデアリマス、其當時ノ書類ヲ段々調べテ見マスト云フト、彼ノ發明致シマシテ種種苦心ヲ重ネマシタ所ガ、此特許ノ期限ニ近ゾイテ參リマシテカラシテ、數回ニ互ツテ何カ赤潮トカ何トカ云フ一種ノ海ノ水ニ黴菌デモ出來マスカ、何カノ爲ニ莫大ナル費用ヲ掛ケテ養殖シタ眞珠ガ皆斃レルト云フヤウナ出來事ガ繰返ヘシテ數回起ツテ、ソレガ爲ニ莫大ノ缺損ヲ受ケタ、其事情ガ主ナル理由ニナツテ延長ガ許可サレテ居ルノデアリマス、其當時ノ書類ヲ調べテ見マスト……其事柄ハ若シモ許可シタコトニ於テ間違アリトスレバ間違ヒカモ知レマセヌガ、書面ノ上又當時私モ新聞等ニ於テ拜見イタシマシタガ、無イ事實ヲアルトシタコトデナイノデ、確ニアツテ其事業經營者ノ爲ニ大打撃ヲ與ヘタト云フコトハ事實デアツタモノニ相違ナイト見ルノデアル、唯何ダカ眞珠ト云フモノガ一種ノ贅澤デモアリ又相當高イモノデアアル、御本本ト云フ人ガエライ今日ニ於テ商賣繁昌シテ居ルト云フヤウナ狀況カラ見マスト云フト、何ダカ延長制度ニ依ツテ不當ナ利得デモ得タカノ如キ感ジヲ或人ニ與ヘテ、ソレガ爲ニ延イテ此制度ノ是非ヲ論ズルヤウナコトニナツタモノデナカラウカト思ハレルノデアリマス、ケレドモ若モ假

ニ其時ノ適用ガ誤ッテ居タトシテモ法律ガ惡イノデ
ナイノデ、詰リ運用スル者ノ過カラ起ル譯デアラウ、
無論此制度ヲ置ク以上ハ今後トモ一層其職ニ當ル者
ノ十分ナル注意ヲ要スルコトハ無論デアアルガ、制度
其モノハドウシテモ是デ日本ノ...殊ニ日本ノ現狀
ニ鑑ミテ必要ナル制度デアアル、斯ウ云フヤウナコト
デ原案ノ通りニ極マリマシタ次第デアリマス、唯併
シ其途中ニ於テ或ハ今日デハ三年以上十年ト斯ウ
ナッテ居リマスガ、或一定ノ年限ニ極メテ仕舞ッテ、何
年トカ云フ風ニ斟酌ナドヲシナイ様ニシテ、五年ナ
ラ五年、六年ナラ六年ト一定シテ仕舞ッテハドウカト
云フコトモゴザイマシタケレドモ、是モ理論カラ申
シマスルト、今申上ゲル通り費用ハ半バニ足ラナクッ
テ十分ナル收獲ヲ舉ゲルコトガ出來ナカッタト云フ
コトガ一つノ根據デアアルノデアリマスカラ、其仕事
ノ模様ニ依ッテ、場合ニ依ッテ寧ロ實際ニ適シタ法制
デアアルト云フ、ドウシテモ此制度ヲ置ク以上ハ、何年
以上何年ト云フ風ニスルヨリ外ニ途ガナカラウ、サ
ウ云フ結論ニ到著イタシマシテ、詰リ結局議論ハゴ
ザイマシタケレドモ、衆議院ニ於キマシテモ、議論ヲ
重ネマシタ末、矢張り委員全體ニ一致イタシマシタ
ノデゴザイマス

此權利ヲ保護スル、保護スル爲ニ延長シタル、云フ
制度ヲ立テナガラ一方ニ於テハ延長ノ場合ニ於テハ
特ニ重稅ヲ課スルト云フヤウナコトハ何トナク矛盾
ヲスル所モアルヤウニ思フ、主義ガ一貫シナイノデ
ハナイカト云フヤウナ感ジガ致シマス、ソレ等ノ點
ニ付テ政府ノ御所見ハ如何デアリマスカ

極ッテ居ル、漸ク仕事ヲ初メタト云フ場合モゴザイマ
セウシ、五年四年ナリ仕事ヲ初メル或程度マデノ利
益ヲ舉ゲタト云フ場合モアルノデアリマス、ドウシ
テモ此法制ヲ置キマスル以上ハ、其事由ニ依テ年限
ノ長短ヲ定メルト云フコトハ性質上カラ見テ必要ナ
ルコトデアラウ、衆議院ニ於キマシテモ長ク議論ヲ
闘ハシタノハ其點ニアッタノデアリマス、イッソノコ
トモウ極メテシマッタラ宜カラウト云フヤウナ論モ
アリマシタケレドモ、ドウシテモ實際ニ之ヲ惡用ス
ル場合ハ是ハ九デ別問題デアリマス、法律ト云フモ
ノ十分ナル注意ヲ以テ相當ニ應用シテ行ク上カラ
ハ、矢張り一定ト云フ事ヨリハ相當伸ビ縮ミノアル
方ガ事情ニ適スル、英吉利ノ如キハ最近ニ於キマシ
テハ五年以上十年ト改正サレテ居ルサウデアリマス
矢張りドウモ此事情ニ應ジテ此制度ヲ適當ニ保護ノ
届クヤウニシヤウト云フコトニナリマス、ソレト云フ
伸縮ノアツタ方ガ適當デアラウト、當局ニ於テモ考ヘ
テ居リマス次第デアリマス

○江木翼君 成ホド承ハリマスレバ餘程鄭重ナ手續
ヲ以テ延長ト云フコトヲ許可サル、ト云フコトデゴ
ザイマスカラ、或ハ情弊ハ少イコトデアラウカト思
ヒマスガ、ドウモ自由裁量ト云フ斯ウ云フ權利ノ保
護ニ付キマシテハ、自由裁量ト云フコトガ、アリマス
ルト云フ事ハ先ヅ此權利ノ幅トカ、何トカ云フモノ
ヲ極メル上ニ於テ、普通ノ場合ニ於テハ例外的ノモ
ノデナイカト思フノデアリマス、大體ニ於テ法律ニ
依テ權利ノ幅ヲ極メテ置ク、云フノガ最モ良イ法制
デアラウト思ヒマスガ、或ハ情弊ノ起ラナイヤウナ
方法ニ於テ、サウシテ此幅モ勅令ノ定ムルトコロデ、
三年以上十年以下ト云フガ如キ自由裁量ヲ行ハナ
イヤウニ極メルト云フコトニ付テハ、政府ニ於テハ
別ニ御考慮ニナルト云フコトハナカッタ譯デアリマ
スカ、一體ナラバ或ハナイ方ガ宜クハナイカト云フ
ヤウナ感ジヲ持ツノデアリマス、殊ニ一方ニ於テハ

○政府委員(田中隆三君) 御答申上ゲマスガ、此延
長ノ場合ニ特ニ稅ヲ高クスルト云フ意味ハ實ハ有
テ居リマセスノデ、唯稅ノ割當方ハ段々後ニナル程
自然ト高メテアルト云フノデ、延長デアアルガ故ニ高
クスルト云フ意味デ此法制ハ立テ、ゴザイマセス、
ソレカラ唯今ノ延長ニ關スルコトニ致シマシテモ、
明治四十二年ノ十月勅令第二百九十八號ト云フモノ
ガ出マシタ、「特許權ノ存續期間延長ニ關スル件」ソ
レノ一條ハ先程申シマシタヤウナ風ニ重要ナ發明ノ
特許權者ハ相當ノ事由ニ因リ其特許權存續期間内ニ
其發明ヨリ生ズベキ相當ノ利益ヲ得ルコト能ハザリ
シ場合ニ於テハ其存續期間ノ延長ヲ出願スル事ヲ得
ルト、斯ウ云フ立方ニ致シマシテ、其出願ノアツタ場
合ニ於テハ主務大臣ガ五人又ハ七人ノ審査委員ヲ命
ジテ之ヲ審査セシムルト云フ手續ヲ致サセマシテ、
其順序ニ依テ審議イタシテ極メルコトニナッテ居リ
マス、現在ニ於キマシテ委員ハ農務局長ト、ソレカラ
商務局長、鑛山局長、ソレカラ文書課長、特許局長、ソ
レカラ次官ハ委員長ニナッテ居リマシテ、ソレ等ノ審
議ニ依テ決定スルコトニナッテ居リマシテ、隨分手續
ノ上カラ申上ゲマス、ト云フト、周到ナ手續ト申上ゲ
テ差支ナイト思ヒマス、ソレカラ其伸縮ヲスルコト
ニ付テ或ハ其間ニ情弊ノ生ズルコトモナカラウカ、
ソレヨリ寧ロ一定ノ年限ニシタラドウカト云フ議論
モ今日マデゴザイマシタノデアリマスガ、ソレハ寧
ロ外カラ彼是ト疑フ受ケルコトハウルサイカラト云
フ意味カラ申シマス、モウ延長ノアルモノハハハキ
リモウ五年ナラ五年ト極ッテ居ル方ガ宜イト云フ意
味ニ過ギナイノデ、性質カラ申シマス、ト今申上ゲマ
シタ通りニ、從來ノ相當利益ヲ舉ゲルコトノ出來ナ
カッタト云フコトガ、此法制ノ根柢ニナッテ居リマス
カラ、舉ゲルコトノ出來ナカッタ時ニハ程度ガアルニ

○江木翼君 利益ヲ舉ゲタカ舉ゲナイカ、舉ゲタ程
度ガドノ位デアアルカト云フガ如キコトハ、實ハ其各
個人ノ營業範圍ニ立入ッテ十分ナル調査ヲスルト云
フコトハ、實ハ私ハ出來ナイコトデアラウカト思ッテ
居ルノデアリマス、極ク大體ノ觀察ヨリ外ニ出來ナ
イ、ムヅカシイ事柄デアラウト思フノデゴザイマス、
從ヒマシテソレヲ基礎ニシテヤルト云フコトデアアル
ノデ、今日多少色々ナ非議ガ起ル所以デナイカト思
ヒマス、今日多少色々シ此點ハ進ミマシタ上デ御意見
ヲ伺ッテモ宜イカト思ヒマスガ、一應此位ノ程度デ止
メテ置キマス、更ニ此點ニ付キマシテハ外ノ機會ニ
伺フコトモアルカモ知レマセヌガ...デ今日マデ御
ヤリニナリマスカ

○委員長(侯爵細川護立君) 諸君ニ御諮リ致シマス
ガ...今日ハ散會ヲ致シマシテ、又改メテ近イ中ニ
開キタイト思ヒマスガ...ソレデハ今日ハ是デ散會
イタシマス

午後零時六分散會
出席者左ノ如シ

出席者左ノ如シ

政府委員

委員長	侯爵細川	護立君
副委員長	和田	彦次郎君
委員	子爵片桐	貞央君
	松室	致君
	男爵高千穂	宣磨君
	男爵池田	長康君
	男爵島津	健之助君
	岡田	文次君
	江木	翼君
	今井	五介君
農商務次官	田中	隆三君
特許局長	宮内	國太郎君
特許局事務官	馬場	穎一君
特許局事務官	中松	真卿君

大正十年四月七日印刷

大正十年四月八日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局